

令和5年度 指定管理者モニタリング評価シート

施設所管課名 文化スポーツ観光部文化振興課

1 施設概要

施設名称	文化会館・はまゆう会館
指定管理者名	よこすか文化パートナーズ
指定期間	令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027年)3月31日(5年間)

2 総合評価

指定期間の2年目にあたる令和5年度は、昨年度に続き物価高騰の影響を受け厳しい運営を迫られる状況となったが、サービスレベルの向上による利用の拡大、修繕を指定管理者自身が行う対応の強化による経費削減、業務効率化を推進し、業務改善に努めていた。

運営面では、利用者の利便性の向上や、経費節減に努めており、評価できる。

また、施設管理の面においても、会館の機能を保つため優先順位をつけて、可能な部分は直営修繕で経費削減を実現するなど、効率的に実施していた。

文化事業・自主事業については、外部要因で実施できなかったもの以外は計画どおり実施できており、来場者も増える結果となった。

難しい舵取りを迫られる1年であったが、各種提案事項を推進し、概ね完遂することができていた。

次年度は文化会館60周年の前年度として、新たなチャレンジと市や地域とのより一層の連携に尽力していってほしい。

3 管理実績評価

評価項目	評価内容	施設所管課評価	
		評価	特記事項
法令遵守	○関連する法令、条例等を遵守して業務が行われているか。	B	
	○個人情報の保護措置や情報公開制度の適正な運用が確保されているか。	B	
施設管理	○条例や協定書等に基づき、開館日・開館時間等を遵守しているか。	B	
	○条例や協定書等に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われているか。	B	
	○条例や協定書等に基づき、使用料又は利用料金に係る手続が適正に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設及び設備の保守点検等が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設の清掃業務が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設の警備業務が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、物品の管理が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設等の修繕業務が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、事業報告書等の書類が期限までに提出されているか。	B	
	○施設管理を行う中で生じた施設課題に適切に対応しているか。	B	

利用者への配慮	○利用者間のトラブルや不適切な施設利用者への対応が適切に行われているか。	B	
	○利用者からの意見を聴取し、業務改善に活用しているか。	B	
リスクへの対応	○事故や災害などの不測の事態への対応策が講じられているか。	B	
	○事故や災害などの発生時には、必要な措置を講じるとともに、速やかに市への報告がされているか。	B	
障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮	○障害者の雇用や障害者就労施設等からの物品購入などの障害者への配慮がされているか。	B	
	○性別による差別のない雇用やワークライフバランスの実現に向けた取組など男女共同参画への配慮がされているか。	B	
	○多様な性に関する差別やハラスメントの禁止に関する内規の整備や多様な性に関する研修の受講、多様な性も考慮した福利厚生等の提供、顧客や取引先など外部に向けた環境整備やサービスの取組など多様な性への配慮がされているか。	B	
地域貢献	○地元人材の雇用が行われているか。	B	
	○市内中小企業等への発注が行われているか。	B	
	○市内の団体・施設・企業等との連携が行われているか。	B	
	○その他の地域貢献が行われているか。	B	
障害者雇用※ ※雇用義務のある団体（従業員を43.5人以上雇用している団体）のみ評価	○障害者雇用率が法定雇用率（2.3%）を達成しているか。	C	
人員体制	○必要な人員が配置されているか。	B	
	○職員への研修等の人材育成は計画通りに実施されているか。	B	
	○人件費の設定は適切か。	B	

労働基準※ ※労働基準法上、作成又は届出義務のある団体のみ評価	○就業規則の労働基準監督署への届出がされているか。	B	
	○労働者に労働条件通知書を交付しているか。	B	
	○時間外・休日労働協定届（36協定届）の労働基準監督署への届出がされているか。	B	
	○社会保険や雇用保険に加入しているか。	B	
経費削減	○経費の削減の取組は行ったか。	B	
	○経費の削減分を活用して、市民サービスの向上などの取組を行ったか。	B	
（独自基準）安定した公正な運営管理	○市の基本施策等に合致した管理運営方針を策定しているか。	B	
	○収支計画は適切か。賠償能力があるか。	B	
（独自基準）サービスの向上	○利用者のサービス向上となる施策が適切か。	B	
	○施設の利用を促進させる工夫（情報発信）等はされているか。	B	
（独自基準）利用料金収入	○利用料金収入の増加に向けた創意工夫はなされているか	B	
（独自基準）舞台運営能力	○舞台機構の安全性の確保及び舞台運営が利用者の高いニーズに対応できるか。	B	
（独自基準）文化事業・自主事業の企画能	○舞台・音楽芸術の普及事業及び自主事業の具体的な企画内容及び実績があるか。	B	

評価	判定基準
A	協定書等※に定める水準を上回っている。
B	協定書等※に定める水準どおりである。
C	協定書等※に定める水準に達していない。

※協定書等…基本協定書、年度協定書、仕様書、募集（申請）要項及び事業計画書のことをいう。

4 収支状況評価

収支総額は当初計画よりプラスであったことから、市民サービスの提供にも問題はなかった。もっとも、次年度の管理運営においては、引き続き光熱費等の増や利用料収入の減といった個別の収支に注視していく必要がある。